

NHK 広島

夏の特集番組 記者会見資料

(2023年7月)



目 次

「被爆78年」関連番組・イベント

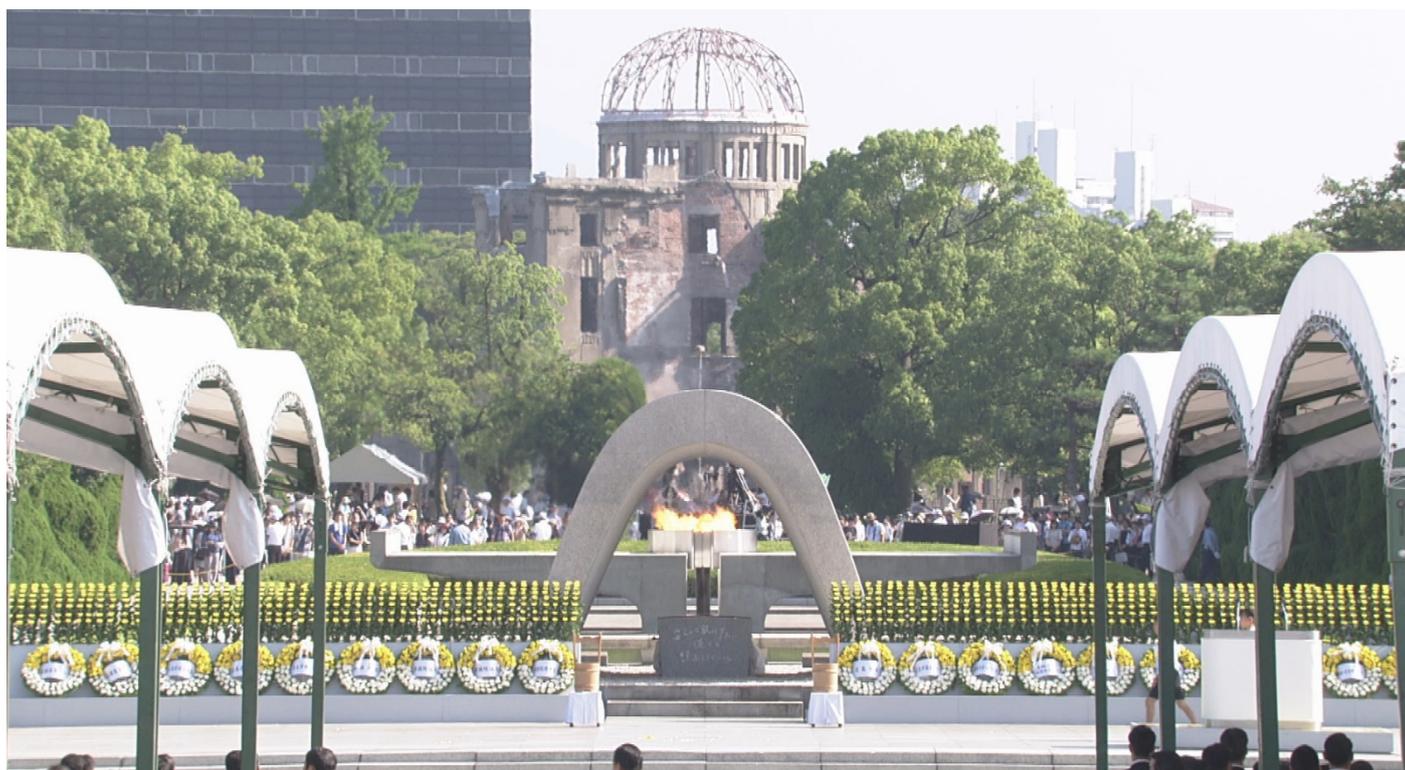
- ◇お好みワイドひろしま 「被爆78年 ヒロシマ原爆の日」
＜7月24日(月)～8月6日(日)／総合＞・・・1
- ◇いのちのうたフェス2023
＜8月4日(金)／総合＞・・・2
- ◇令和5年 広島平和記念式典
＜8月6日(日)／総合・ラジオ第1＞・・・3～4
- ◇原爆の日・生放送特番 「ヒロシマを未来へつなぐ(仮)」
＜8月6日(日)／総合＞・・・5
- ◇NHKスペシャル 「原爆 ウラン争奪戦 ～1938-2023 知られざる攻防～(仮)」
＜8月6日(日)／総合＞・・・6
- ◇被爆78年 原爆の日ラジオ特集 「ヒロシマを継ぐ～若き伝承者の思い～(仮)」
＜8月6日(日)／ラジオ第1＞・・・7
- ◇戦争遺産島
＜8月12日(土)／BSプレミアム・BS4K＞・・・8

- テレビが記録したヒロシマ ～NHK・民放番組上映会2023～
＜8月16日(水)～20(日)／広島平和記念資料館＞・・・9～10

「その他の番組」

- ◇アニメ聖地旅 大崎下島 ～広島・「ももへの手紙」の舞台へ～
＜8月25日(金)／総合＞・・・11～12

「被爆78年」 核・平和関連番組





お好みワイド

「被爆78年 ヒロシマ原爆の日」

7/24 (月) ~ 8/4 (金)	総合	後6:10~6:59	<広島県向け>
	5 (土)	総合	後6:30~6:59 <広島県向け>
	6 (日)	総合	後6:00~6:59 <広島県向け>

「NHK プラス」による見逃し配信あり

ことし被爆地・広島で初めて開催されたG7サミット。首脳たちが被爆の実相に触れ、核軍縮に焦点を当てた「広島ビジョン」が発表されたが、被爆者や核廃絶に取り組んできた市民からは、「核なき世界」に向けた具体的な一歩が示されず、むしろ核抑止力を肯定した内容になったと批判の声も上がっている。そして、世界は、ロシアによるウクライナ侵攻と核兵器使用の示唆で、“核”をめぐる状況が緊張の度を増している。こうした中で迎える「被爆78年」の8月6日。広島から世界にどんなメッセージが発せられるのか、注目される。

「お好みワイドひろしま」では、7月下旬から、「この声を世界へ」と題して、サミット後も核兵器廃絶への訴えを続ける被爆者の声や、平和への誓いを受け継ぐ若者たちの取り組みを、レポートなどで集中的に伝える。

平和記念式典が行われる8月6日には、各地で続く祈りの様子や、広島市長の「平和宣言」や岸田総理大臣の挨拶に込められたメッセージの詳しい読み解き、それに核兵器をめぐる世界の動きなどを、多角的にお伝えする。



いのちのうた フェス2023 from HIROSHIMA

8月4日（金） 総合 後7：30～8：42 <中国地方向け>

「NHK プラス」による見逃し配信あり

広島から、音楽で命と平和の尊さを!

多彩なアーティストによる平和をテーマにした名曲パフォーマンスや、一夜限りのコラボレーションなど、音楽で被爆地・広島から平和と命の大切さを訴えていく。

AIが朝ドラ主題歌と代表曲を熱唱! 新浜レオンは高校生とコラボダンス。

夏川りみが名曲をふるさと沖縄の言葉で歌唱し、HIPPIYは若い世代から注目を集める応援歌を歌いあげる。島谷ひとみは竹内まりやの名曲を披露。

STU48は平和ソングを、話題の高校生シンガー・久保陽貴が、ゆずの名曲に挑戦! 広島出身者大集合で歌うご当地ソングにもご注目!

MC：アンガールズ（田中卓志、山根良顕）、本田望結、小野文恵アナウンサー

出演：AI、STU48、久保陽貴、島谷ひとみ、夏川りみ、新浜レオン、HIPPIY
（五十音順）



令和5年 広島平和記念式典

8月6日(日) ●総合 前8:00~(8:57) <全国放送>

「NHK プラス」による同時配信、見逃し配信あり

●ラジオ第1 前8:00~9:00 <全国放送>

「らじるらじる」によるネット同時配信、聴き逃し(1週間)あり

テレビ

被爆から78年、ことし広島では、G7サミットが開催された。首脳たちが被爆の実相に触れることができたと評価する声がある一方で、被爆者や核廃絶に取り組んできた市民は、「核なき世界」に向けた具体的な一歩が示されず、むしろ核抑止力を肯定した内容になったと批判を強めている。

ロシアによるウクライナ侵攻、ベラルーシに戦術核兵器の配備が進められるなど、世界の“核”を巡る状況はさらに緊張の度合いを高めている。これから広島はどんなメッセージを発していくのか。またサミットで、核廃絶を「究極の理想」とした議長国・日本は、今後どう取り組みを進めていくのか。11月にはニューヨークで第2回となる核兵器禁止条約の締約国会議も開催される予定で、日本の態度が注目される。

番組では、市長による平和宣言、広島でサミットを開催することを強く押し進めた岸田総理大臣の挨拶、子ども代表による「平和への誓い」などの模様を中継するほか、サミット後も世界に発信を続ける被爆者や市民の姿を伝える。

担当は小野文恵アナウンサー。



ラジオ

被爆 78 年を迎える式典の様子とともに、現在も証言活動を続け、核廃絶を訴えている被爆者、そして広島育ちの国際ジャーナリストが、G7広島サミットのあと初めて迎える広島原爆の日に、何を感じているのかを伝える。

ゲストは、被爆者で、原爆投下時のトルーマン元大統領と、戦後米国で対面した経験もある、森下弘（もりした・ひろむ）さん、国際ジャーナリストで現在はタレントとしても活動する、広島育ちのモーリー・ロバートソンさんの2人。

番組では、参加人数を増やして開かれる平和記念式典の会場の様子や広島市長の平和宣言、岸田総理大臣の挨拶などを中継で伝えるとともに、国際情勢が緊迫化する中、G7広島サミット後の世界情勢を踏まえながら、被爆者が広島から世界に何を訴えようとしているのか。被爆 78 年の被爆地から、ゲストとともに伝えていく。担当は安藤結衣アナウンサー。

【ゲスト】



森下 弘 さん



モーリー・ロバートソン さん

原爆の日・生放送特番 「ヒロシマを未来へつなぐ（仮）」

8月6日（日） 総合 第1部 後1：05～5：50 <広島県向け>

第2部 後7：30～8：00 <広島県向け>

「NHK プラス」による見逃し配信あり

5月にG7広島サミットが開かれ、「核軍縮に関する広島ビジョン」が発表されるなど、例年にもまして特別な8月6日、原爆の日を迎える今年。午後1時台から5時間以上にわたって、これまでNHK広島で制作してきた、核やG7広島サミットに関する番組を紹介しながら、スタジオで語り合う特別番組を生放送でお送りする。

被爆者の思いに迫るドキュメンタリー番組から歌で平和を願う番組まで、様々な番組を見ながらゲストがヒロシマについて語り、視聴者があらためて「平和」と「いのち」について考える。

【紹介する予定の番組】

「コネクト 検証・サミット ヒロシマの思いは届いたのか？」（2023/5/27放送）

「コネクト いま 伝えたい～小倉桂子さん 核大国アメリカでの対話」（2022/10/28放送）

「いのちのうたフェス2023」（2023/8/4放送予定）

「永遠に語り継ぎたい ～未来に残す、あのときの記憶～」（2023/3/18放送）

⇒番組内で紹介している「被爆証言応答装置」を8月5日（土）～7日（月）で

NHK広島放送局・8Kスーパーハイビジョンシアターで公開予定

【出演者】

司会： 出山知樹アナウンサー

ゲスト： 加藤シゲアキさん、春香クリスティーンさん、

崇徳高校新聞部の生徒のみなさん 他



加藤シゲアキ さん



春香クリスティーン さん



「コネクト いま 伝えたい
～小倉桂子さん 核大国アメリカでの対話～」



「永遠に語り継ぎたい
～未来に残す、あのときの記憶～」

NHKスペシャル

「原爆 ウラン争奪戦 ～1938-2023 知られざる攻防～（仮）」

8月6日（日） 総合 後9：00～9：49 <全国放送>

「NHK プラス」による同時配信、見逃し配信あり

世界に1万2千発以上存在する核兵器。ウクライナ侵攻後、世界が核兵器への依存を強める中、その数は再び増加に転じることが懸念されている。その核兵器を製造する上で欠かせないのがウラン。1938年に初めて核分裂が発見されて以来、“核の力”を求める国々はその確保に奔走してきた。

そのホットスポットとなってきたのが、アフリカ・コンゴ民主共和国にある「シンコロブエ鉱山」。世界で最も高純度のウランが産出された鉱山だ。歴史の出発点は、広島・長崎に投下された原子爆弾の主原料となったこと。今回、その過程を克明に記した膨大な未公開資料が見つかった。浮かび上がってきたのは、シンコロブエウランを密かにアメリカに持ち込んだ、ある商人の存在が歴史を大きく動かしていた事実。さらに、アメリカがウランを独占したことで、ナチスドイツへの「対抗的防衛」としていた開発目的を、戦後の世界を支配する「最終兵器の開発」へと変えていったことも明らかになってきた。

こうして人類史上初めて使用された原子爆弾は、その年だけで、広島・長崎あわせて20万以上の命を無差別に奪うことになった。そして、第二次世界大戦以降も、シンコロブエ鉱山は、米ソの原料争奪の現場となったほか、新たに核を持とうとする国々が接近するなど、核拡散の震源地となっていく。

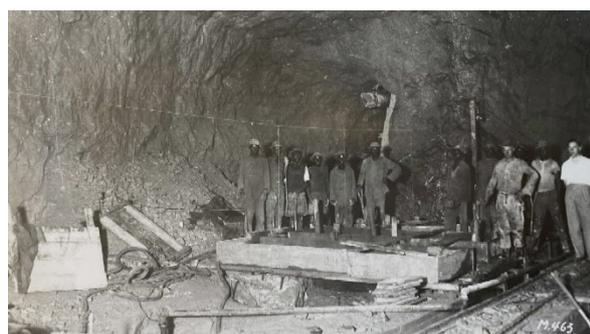
番組では、新資料や関係者の証言をもとにシンコロブエ鉱山の歴史をひもとき、繰り返されてきた”核の力”を求める国家の姿と思惑を描く。



シンコロブエ鉱山



ウランをアメリカに持ち込んだ
ベルギーの商人・エドガー・サンジェ



戦前のシンコロブエ鉱山



鉱山で採取されたウラン鉱石

被爆 78 年 原爆の日ラジオ特集

「ヒロシマを継ぐ～若き伝承者の思い～（仮）」

8月6日（日） ラジオ第1 後10：05～10：55 <全国放送>

「らじるらじる」によるネット同時配信、聴き逃し（1週間）あり

核の脅威が高まる世界。ウクライナ侵攻のさなか、今年5月にはG7広島サミットが開催された。被爆から78年、核兵器による威嚇が現実になりつつある今、被爆者は高齢化が深刻で、世界に被爆の実相を伝えることはますます難しくなっている。

こうした中、微かな希望も見え始めている。被爆体験の継承に取り組む若い世代が育ち始めているのだ。広島市の被爆体験伝承者の養成事業が始まって11年。広島市西区の沖本春樹さん（34）は、まもなく伝承者としてデビューすべく日々模索を続けている。広島生まれ広島育ちの沖本さん、しかし最近まで、自分が被爆体験を伝える必要性は感じていなかった。きっかけは、社会人になってからの海外での経験。一昨年から被爆者の梶矢文昭さん（86）の体験を伝承しようと活動を始めた。伝承者として活動している人の多くは60代や70代。沖本さんは、かなりの若手となる。

激動する国際情勢の中、30代の若者がどのような危機感を持ち、活動をしているのか。また、被爆者から何を受け継ぎ、ヒロシマから何を伝えられると考えているのか。被爆者とのやり取りや被爆の歴史をたどる沖本さんの姿を追い、これからの世代が戦争を自分事として考えるには何が大切なのかを見つめていく。

戦争遺産島

8月12日(土) BSプレミアム・BS4K 後6:00~7:29 <全国放送>

日本の離島に今も残る砲台跡や指揮所跡、栈橋などの戦争遺産。多くは朽ち果て、当時を知る人も減りつつある。「戦争遺産島」では、巨大で全貌のわかりにくい戦跡を、ドローンなどを駆使し撮影。当時を知る島民の証言や、兵士の手記、軍の記録等を併せ、なぜ離島にこのような戦争遺産が建設され残ったのか、また遺産が紡ぐ悲劇の物語をあぶりだしていく。

今回訪ねるのは、200以上の戦争遺産が残る鹿児島県奄美大島(あまみおおしま)・加計呂麻島(かけろまじま)、特攻兵器回天の訓練基地があった山口県大津島(おおづしま)、東京湾要塞の一つで軍港横須賀の目の前に浮かぶ神奈川県猿島(さるしま)、そして原爆の被爆者およそ1万人が運び込まれた広島県似島(にのしま)。

似島は広島・宇品港から4キロメートル沖に浮かび、レンガ造りの煙突、古い石積み の栈橋などの戦争遺産が残る。ここには日清戦争直後から第二次大戦終結まで、帰還する兵士が、病原菌を持ち込まないようにするための施設、陸軍検疫所があった。原爆が投下された時、薬品類や医療器具の備蓄があったことから、被爆者が運び込まれ、野戦病院のような状態となった。しかし運び込まれた被爆者のほとんどは、生きて島を出ることはなかった。

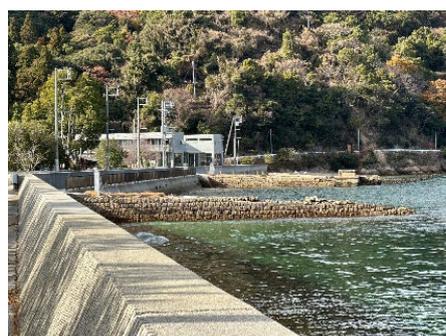
番組の似島部分では、陸軍船舶衛生隊の手記、当時を知る島民のインタビューに、似島の戦争遺産の映像を重ね、戦争という巨大な無駄、原爆の残酷さに迫っていく。



似島全景



被爆者の遺体を火葬した
軍馬用の焼却炉の跡



陸軍検疫所 第一検疫所 栈橋

NHK広島放送局
中国放送
広島テレビ放送
広島ホームテレビ
テレビ新広島

NHK広島・在広民放4局共同企画

「テレビが記録したヒロシマ～NHK・民放番組上映会2023～」実施について

NHK広島放送局と広島の民放4局はこれまでに制作した核・平和関連番組を共同で上映する「テレビが記録したヒロシマ～NHK・民放番組上映会2023～」を開催します。

被爆70年（平成27年）を機に始めたこの取り組みは今回で7回目となります。ことし5月のG7広島サミットでは、核や平和を巡って、世界的な関心が集まりましたが、共同企画では、広島平和記念資料館を訪れる多くの来館者に番組をご覧いただく機会を提供して、引き続き平和へのメッセージを発信していきます。

1. 名称 「テレビが記録したヒロシマ～NHK・民放番組上映会2023～」
 2. 主催 NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ放送、広島ホームテレビ、テレビ新広島
 3. 共催 広島平和記念資料館、広島市、公益財団法人放送番組センター
 4. 日時 2023年8月16日（水）～8月20日（日）＜5日間＞
午前10時～午後6時（終了時間は日によって異なります）
 5. 会場 広島平和記念資料館 東館地下1階「メモリアルホール」（312席）
（広島市中区中島町1-2）
 6. 内容 各局制作の核・平和関連番組を5日間にわたり、「メモリアルホール」のスクリーンで上映します。
※英語字幕付きの番組の上映も予定しています。
- なお期間中、NHK 広島放送局が開発した VR 技術を活用し原爆ドーム内部の見学を疑似体験できるコーナーを設けます。
7. 入場方法 無料。入退場は自由ですが、満席の場合は入場を制限することがあります。
 8. お問い合わせ
○NHK広島放送局 電話：082-504-5112
○中国放送 電話：082-222-1155
○広島テレビ放送 電話：082-207-0400
○広島ホームテレビ 電話：082-221-7113
○テレビ新広島 電話：082-256-2117

放送局別上映リスト

※上映番組は変更することがあります。

NHK広島		
番組名	放送日（西暦）	時間（分）
アニメ ヒバクシャからの手紙①「貴女へ」【英語字幕あり】 （第27回キネコ国際映画祭 日本作品賞・短編映画部門グランプリ）	2019/8/2	10
アニメ ヒバクシャからの手紙②「ヤマンへの手紙」【英語字幕あり】	2019/8/2	10
アニメ ヒバクシャからの手紙③「ハウセンカおじいちゃん」【英語字幕あり】	2019/8/2	5
アニメ ヒバクシャからの手紙④「父とのわかれ」【英語字幕あり】	2019/8/2	5
NHKスペシャル 「原爆が奪った“未来”～中学生8千人・生と死の記録～」	2022/8/6	49
永遠に語り継ぎたい ～未来に残す、あのときの記憶～	2023/3/18	49

※「アニメ ヒバクシャからの手紙」は4本まとめて上映（計30分）

中国放送		
番組名	放送日（西暦）	時間（分）
The A-bomb ヒロシマで何が起こったか【英語字幕あり】	2006/12/31	47
描く 被爆76年の広島から	2021/8/6	52
それでも核兵器 要りますか	2022/8/6	50

広島テレビ		
番組名	放送日（西暦）	時間（分）
父と子 心の旅～禎子と折り鶴が遺したもの～	2022/11/26	30
マイネームイズ ヤハタ・テルコ～「英語で伝えたい」85歳被爆者の挑戦～	2023/3/25	30
G7首脳に伝えた被爆者 ～追体験が導く「核なき未来」～	2023/5/27	30

広島ホームテレビ		
番組名	放送日（西暦）	時間（分）
【ドキュメント広島】紙芝居でつなぐ赤レンガの記憶～旧陸軍被服支廠物語～	2022/12/29	25
【テレメンタリー2023】 原爆資料館 閉ざされた40分～検証 G7広島サミット～	2023/6/10	24

テレビ新広島		
番組名	放送日（西暦）	時間（分）
語られなかった真実～原爆で死んだアメリカ兵～【英語字幕あり】 The Untold Truth - American Victims of the Atomic Bomb -	2004/8/6	46
刻みつけられた地獄 最初で最後のヒロシマPTSD調査【英語字幕あり】 Scars of Hell	2010/8/6	50
ヒロシマを遺した男～原爆資料館誕生秘話～【英語字幕あり】 The man who left us the legacy of Hiroshima	2014/8/6	51
原爆ドーム～その名に遺されたもの～【英語字幕あり】 Genbaku Dome - what the name has left us -	2019/8/6	52
誰がための放影研【英語字幕あり】 For Whom does RERF Exist?	2020/8/6	50
被爆地にたつ孤児収容所～2千人の父、上栗頼登～【英語字幕あり】 An Orphan Camp on Atomic Bombed Land	2021/8/6	51
ヒロシマ祈りの場の1年～2021年8月～2022年7月～【英語字幕あり】 A Year of Prayer in HIROSHIMA, August 2021-July 2022	2022/8/6	50

※ご覧いただく番組は、当時の取材に基づいて制作された番組です。登場人物の役職や年齢、引用している資料・知見・データ等は、すべて放送当時のものです。あらかじめご了承ください。

※上映番組に登場する方々の人権やプライバシーに関しては十分配慮しておりますが、制作後長い年月を経過した番組もあり、連絡を取れない方もいらっしゃいます。お気づきの点があればお申し出ください。

そのほかの番組

アニメ聖地旅 大崎下島 ～広島・「ももへの手紙」の舞台へ～

8月25日（金） 総合 後7：30～7：55 <中国地方向け>

8月29日（火） 総合 後2：05～2：30 <全国放送>

「NHK プラス」による見逃し配信あり（8/29 は同時配信もあり）



ジャニーズきってのアニメファンである宮田俊哉さんが、アニメで描かれた舞台を訪ねる旅。これまで旅した第1弾・広島県竹原市、第2弾・岡山県倉敷市に続き、第3弾は、安芸灘とびしま海道の大崎下島へ！

“みかんの島”として知られる大崎下島は、かつて潮待ちの港として栄え、今も情緒ある町並みが残る。宮田さんは、映画の主人公『もも』が妖怪たちと出会い、ひと夏を共に過ごす中で、親子の絆を見つけていく姿を描いたアニメの世界をたどって島を歩き、“みかんの島”に受け継がれる暮らし、そして島の伝統や町並みを守って生きる人々の思いを見つめていく。段々畑と瀬戸内海の絶景、江戸時代から続く勇壮な夏祭り、趣のあるレトロなカフェなど、町の魅力が満載！





©2012『ももへの手紙』製作委員会

2012年公開のアニメ映画。豊かな自然とやさしい人々が生きる瀬戸内の小さな島で、主人公『もも』に訪れる不思議な日々を描いた、家族の愛の物語。監督は、脚本・原案も手がけた沖浦啓之（おきうら・ひろゆき）。2000年に初監督となる映画『人狼 JIN-ROH』を発表。12年ぶりにメガホンをとった今作品では「文化庁メディア芸術祭優秀賞」をはじめ多数の賞を受賞した。

大崎下島を訪れた 宮田さんから・・・

最初は「ももへの手紙」の聖地巡礼だというのが楽しみで、大崎下島に来ましたが、島の人たちの魅力にすごく引き寄せられた気がします。やはりいいところですね。初めて来た気がしなかったというか、不思議な力がありました。でも、これは口で説明できることじゃなくて、来たらわかる。この映画を見た皆さんなら、1回来たらきっとその魅力に気付くと思います。僕はわりと笑顔でいる方ですけど、島の皆さんの笑顔ステキだなんて思って。僕ももっといっぱい笑おうって思った旅でした。



<出演（旅人）> 宮田俊哉（みやた・としや）

神奈川県出身、34歳。

7人組アイドルグループ・Kis-My-Ft2のメンバー。

音楽活動のほか、俳優としても活躍中。ジャニーズ1のアニメファンであり、NHKでは「アニソン！プレミアム！『ラブライブ！SP』」で司会を務めた。



番組ナレーター：山寺宏一（やまでら・こういち）

宮城県出身、62歳。

声優、ナレーター、俳優、タレントとして幅広く活躍。

「七色の声を持つ男」との異名を持つ、声色が持ち味。

「ももへの手紙」では、妖怪・カワの声を担当した。